

かけはし

No.176

2023.5

岩手県倫理法人会
ニュースレター

令和5年5月



今号の「倫理の達人」

緑仁舎 (写真①②)

株式会社エースレンタカー (写真③④)

岩手県倫理
法人会 HP



岩手県倫理法人会のホームページのリニューアルを行うにあたり、ホームページ制作の公募を行います。詳しくは WEB で！

女性委員会 第2回ランチセミナー報告……2

おらほの単会自慢……3

倫理の達人……4

スポットライト……5

第5期岩手倫理経営塾 開講……6

倫理経営講演会開催中！……6

女性委員会 第3回ランチセミナーのご案内……7

ぶらり寄りみち散歩道……7

万人幸福の葉／倫理との出会いと今……8

女性委員会 第2回ランチセミナー報告

WBC 優勝の余韻も冷めやらない3月23日木曜日、佐々木朗希選手のふるさと、陸前高田市の“キャピタルホテル 1000”にて、R 5 年度岩手県倫理法人会女性委員会第2回ランチセミナーを開催いたしました。

講師には出前館創業者の花蜜幸伸氏をお迎えし、『一步踏み出す勇気』をテーマにご講話をいただきました。これをやる！と決めたら、様々な工夫をしながら信じてやり続ける。万人幸福の葉の第15条・信成万事につながる内容でした。花蜜さんのパワーあふれるお話に「もっと聞きたかった」「時間が足りなかった」との感想が多数ありました。

当日は、未会員も含め、50名の方にご参加いただきました。倫理法人会の活動の柱の一つであるモーニングセミナーを、たくさんの方に知っていただくことを目的にランチセミナーを開催しています。参加した未会員の方から「来てよかった」「ランチだと参加しやすい」「また来たい」とのお声をいただき、本当に嬉しかったです。

このランチセミナーをきっかけに、新しいお仲間がたくさん増えていくようにお声がけを続けていきます。

そして、及川元一県会長はじめ、県内の会員さん、女性委員会 OG さんもたくさんご参加下さいました。「OG が参加して盛り上げてくれるところが、いいよね～」との言葉が最高に嬉しかったです。R 5 年度の女性委員会の活動テーマは『しなやかに根をのばす』です。

女性委員会一人一人のパワーが、ずーっとつながっているから『今』があります。

これからも、しっかりとつながって楽しみながら活動していきたいです。

倫理研究所の紀尾井清堂に展示されていた『奇跡の一本松の根』は、一年間のお役目を終えて、陸前高田に帰ってきたそうです。時を同じくして、3月にこの地で女性委員会の事業を開催することができたことに感謝しています。

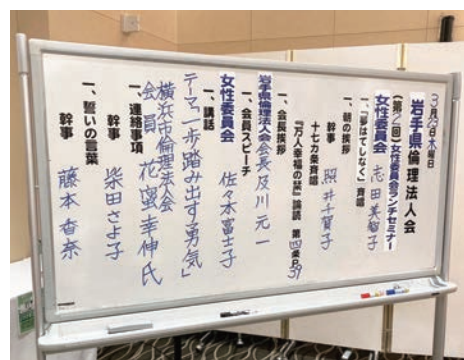
最後になりますが、開催にあたって、けせん倫理法人会の皆さんにはたくさんのご協力をいただきました。ありがとうございました。(岩手県倫理法人会女性委員長 佐々木富士子)



及川元一会長



講師 花蜜幸伸氏



次第



熱心な聴講風景



とても賑やかで楽しい時間を過ごしました

おらほの 単会 自慢

盛岡みなみ倫理法人会

盛岡みなみ倫理法人会の自慢は、明るく元気なエンターテイナーぞろいなところですよ。当単会では会員の皆さんの交流の機会を出来るだけ設けるよう活動を進めており、そうした交流の場でエンターテイナーの皆さんの日頃磨いた技を披露していただいております。コロナ禍で若干停滞していたところもありますが、恒例となっている会員大会などの交流会を盛り上げていただいております、参加いただいた皆さんとともに楽しく和気あいあいと、まさに盛会裏に開催されています。

交流会は、ご家族の皆さんにも参加いただき、お子さまでも楽しんでいただけるような行事として、ボウリング大会や料理教室も企画しています。昨年10月にはハロウィンをテーマにした料理教室を開催しましたが、料理の先生も役員が務めるなど、そういう意味でもエンターテイナーぞろいですね。

昨年・一昨年の会員大会後の交流会の様子です



気品あふれる三味線「後藤百合子さん」です。時季を捉えた演目で会の品格をグッと高めていただきます。



プロのギタリスト「山家章裕さん」です。さすがUSA仕込みのノリノリのギターです。



笑顔のマジシャン「工藤晴香さん」です。タネも仕掛けも…ハンドパワーならぬスマイルパワーです。

Tsunami バイオリン演奏会の様子です



マルチエンターテイナー「柴田さよ子さん」です。写真は盛岡市倫理法人会高橋昭治さん（タカハシダンススクール）とのダンスの様子です。



バイオリニスト「花田慶子さん」



三味線奏者「藤原 翼さん」

高知県池澤副会長の歓迎と会員の交流の場として、パブレストラン「アンサンブル」において「Tsunami バイオリン演奏会」を開催しました。バイオリニスト花田恵子さんによる Tsunami バイオリン演奏のほか、幹事の柴田さよ子さんのサクソ演奏、三味線奏者の藤原翼さんの演奏など楽しいひと時となりました。

ハロウィン料理教室の様子です



盛岡みなみ倫理法人会では「みなみの風にとって」を合言葉に、これからも明るく楽しい会の運営に努めてまいりますので、皆さまもモーニングセミナーなどいらっしやってください。
(専任幹事 千葉伸行)

釜石市準倫理法人会

緑仁舎

住所：岩手県釜石市源太沢町 1-5-10
TEL：0193-25-2488



代表
木村 仁 寿

常に心掛けている万人幸福の栞 17 か条は「物はこれを活かす人に集まる」。造園業という仕事柄、道具を大切にするのは基本中の基本。ちょっとした気の緩みが事故につながります。道具の手入れ、整理整頓といった当たり前のことを実践することが、良い仕事をするための大前提だと考えています。釜石市準倫理法人会の木村会長はこうに話しました。

木村会長は、令和 4 年度卓越技能者（青年卓越技能者）に選ばれた、造園のスペシャリスト。高齢化が進む業界の中では若手のホープと言える存在です。倫理法人会に加入したのは 2 年ほど前。ご近所でもよく剪定を依頼される平松前会長に誘われてのことでした。もともと 4 時には起床して読書をする習慣があったそうで、たまたま出席した MS で工藤晴香現朝礼副委員長の講話を聞き、それ以来「スマ

イル」の実践に取り組んでいます。令和 5 年度会長就任以降は、各単会のモーニングセミナーに呼ばれ、笑顔の実践について聞かれた方も多いと思います。

木村会長が代表を務める「緑仁舎」は従業員 4 名、内女性が 3 名と、圧倒的に女性が多い職場です。何で女性が多いんだろうという話になったときに木村会長をよく知る平松前会長は「だってやさしいから・・・」と言っていました。会長就任後は、お子様が入院したり、ご自身も顎に小さな腫瘍ができて医大で緊急手術をしたりと苦難続きですが、「苦難福門」これも今後の発展の道筋かと思います。

釜石単会は、会員数 50 社。100 社を目指して取り組むものの、しばらく足踏み状態が続いています。これからは若い木村会長の元、新しい風を吹き込んで、きっと活性化できるものと思っています。

（釜石市準倫理法人会専任幹事 見世研一）



倫理の達人

「倫理の達人」コーナーでは毎号、各単会で活躍する事業所や人物を紹介します。どのように「倫理」と向き合って、日々の仕事の中でどう実践しているかを紹介いたします。

奥州市倫理法人会

株式会社
エースレンタカー

住所：岩手県奥州市水沢東大通り 1 丁目 7-10
TEL：0197-22-3400



営業
佐藤 総一郎

青のツナギがトレードマークで、会員の皆さんからは「そうちゃん」と呼ばれる奥州市倫理法人会副事務長佐藤総一郎さんをご紹介します。

総一郎さんは、大学卒業後東京で就職されていましたが、社長である父上から「そろそろ、事業を手伝ってくれ」との言葉を受け、小さい頃からぼんやりと父の仕事を継ぐことは当たり前と考えていたことから、平成 19 年、24 歳でエースレンタカーに入社しました。

そして程なく、社長である父上から「出てみろ」との言葉で、モーニングセミナーに参加するようになったのが倫理との出会いで、入会して 16 年になったそうです。

「倫理法人会での学びは？」と質問すると、「いやー、一杯ありすぎて何かひとつと言われると・・・」と話されま

したが、「多くの事を吸収し、知らず知らずに実践出来ている」と私は感じています。

家業である「エースレンタカー」は文字通りレンタカー業ですが、軽自動車から貨物自動車・マイクロバスまで車のリースや新車販売、企業の車両管理のサポートなど、地元のお客様密着型の会社です。

私が素晴らしいと感じるのは、エースレンタカーはお客様を大切に、お客様のためにと日々仕事をされている会社で、その姿勢の一つが、お客様の車種や車のナンバーを、社長と総一郎さんが記憶していることです。数えたことは無いと言いますが、相当な数を記憶していることに驚きます。道ですれ違うといつも会釈されたり、車の様子を見ていてくれたりと、台帳で管理しているというレベルではない“お客様第一主義”が、この会社の根底にあると思います。

総一郎さんは、「頑張ると空回りしてしまうタイプで、ほどほどにというのが一番長続きするんです」と話していました。背伸びせず、目の前のことに愚直に一歩一歩確実に進んでいく事が大切なのだと、取材を通じて学びました。

（奥州市倫理法人会広報委員長 菊池達哉）

スポットライト

各単会の女性経営者の方にスポットを当て、経営と倫理に対する思い、そしてプライベートな関心事まで語ってもらいました。

北上市倫理法人会

会員

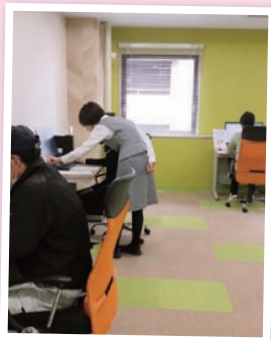
能瀬 聡子

株式会社アプリステイ
代表取締役



○どんなお仕事をしていますか？

北上駅前で「北上駅前パソコン教室」を運営し、自身もパソコンインストラクターとして毎日現場に立っています。主にOffice(ワード、エクセル、パワーポイント等)のレッスンを中心に小学生から90代の生徒さんまで現在約140名の生徒さんと触れ合いながら毎日楽しく仕事をさせていただいております。最近はパソコンだけではなくスマホやタブレットを使ってLINE・SNS・ZOOM・キャッシュレス決済等の操作を知りたい!というニーズも増えており、急速に変化するデジタル化に合わせて対応できるレッスンの幅を広げていけるよう日々奮闘しております。



○倫理法人会に入ったきっかけは？

自分磨きの為です。経営者としてもっともっと成長したい、会社をよりよくしたいと気持ちから、経営者の方々がたくさん集まるところへ行き、いろいろな体験談をお聞きすることで自分のやるべきことや目標を明確にし、自分自身のぶれない基盤を作れたからです。

○職場でどんな風に倫理に取り組んでいますか？

倫理法人会に入ってまだ半年ではありますがこの私が週に一度5時に起きてモーニングセミナーに参加していることは職場のスタッフもかなりびっくりしていることと思います。その姿を見ているだけでもスタッフの心持ちが少しずつ変わってきているのを感じます。最近では今まで会社で一度も行ったことがなかった朝礼を行うようにもなりました。今後のスタッフの変化が楽しみです。



○趣味や熱中していることは？

美容と健康のため、食事・運動・睡眠の3つを丁寧に行うことが最近のマイブームです。今までは好きなものを食べ、好きな時間に寝て起きて、運動も全くしていませんでした。倫理に入ってから自分磨きが趣味になりました。

けせん倫理法人会

副事務長

田中 タカ子

株式会社谷地保険事務所



○どんなお仕事をしていますか？

損害・生命保険の販売を通じて、お客様に安心と安全を提供し、ゆとりある豊かな社会生活に貢献する仕事をしています。一般的な保険斡旋業務の他に、お客様自らがお仕事や人生に思い描く“夢”“目標”の実現のお手伝いとして各種情報提供やセミナー、相談会などを行っています。



○倫理法人会に入ったきっかけは？

読書好きな同級生に「非常に良い本を勉強している会がある」と紹介されたことがきっかけです。

○職場でどんな風に倫理に取り組んでいますか？

毎朝の朝礼で経営理念を唱和し「職場の教養」を音読。毎週金曜日のMSで配布される「今週の倫理」は回覧。社員が同じ読み物、言葉を学び共有することで日常業務の場面において、その言葉から互いを理解し合うことに役立てているとします。私自身は全て受け入れる姿勢を意識しています。

○趣味や熱中していることは？

気が多く読書、手芸、料理、ゲーム、掃除など多趣味で一つに熱中することは難しいです。しかし、その中でも毎日必ずするのは本を読むことです。活字中毒気味なところがあります。ネットでの読書よりは紙での読書が好きです。



しきなみ短歌会

今回の短歌

冬が来た

観光客はいなくなり

キッチンカーの役目なくなる

(米倉幹雄さん)

第5期岩手倫理経営塾 開講

2月11日（土）、宮古市の陸中ビルにて「第5期岩手倫理経営塾」が開講いたしました。本年は県内各地より8名の塾生がエントリー。開講式では、山内道治塾頭より「非日常を味わい、7月15日に共に卒業し新たなスタートを切ろう」と激励の挨拶があり、角田直樹幹事長からは「しぶしぶ決めた方もいるかも知れないが、出席を決めたのは皆さんです。想いをぶつけてほしい」とエールを送りました。当日は、岩手倫理経営塾のきっかけをいただいた宮城倫理経営塾の野口塾頭にもお越しいただき、「担当スタッフがしっかり併走していくから安心してください」と励ましの言葉をいただきました。開講式が終わると、早速あいさつ実習や各講師のセミナーが始まりました。みなさん戸惑いながらも真剣に取り組んでおりました。菊池一



■第5期岩手倫理経営塾塾生(写真左より)

鈴木 哲(一関市)	小軽米健太(二戸市)	菊池一彦(遠野市)	藤村 将(宮古市)
菊池一俊(北上市)	高橋さくら(花巻市)	佐々木康仁(宮古市)	葛巻 徹(花巻市)

彦さん(遠野市)は「後世にお金ではなく理念を残していきたい」と、菊池一俊さん(北上市)は「当たり前のことを当たり前に行えるように自らを変えていきたい」と、高橋さくらさん(花巻市)は「会社を見つめる時間をつくり、しっかりと向き合っ

倫理経営講演会開催中！

令和5年度の倫理経営講演会が、3月1日（月）の北上市倫理法人会をスタートとして、各単会で開催されております。今年度のテーマは「経営力を磨く～自己変革に挑む～」です。

北上市に続き、紫波・矢巾、久慈市、盛岡みなみ、花巻市、盛岡市、遠野市、宮古市で行われました。今後の開催予定は、下表の通りです。

北上市倫理法人会での経営倫理講演会は、事業体験報告は、新潟県倫理法人会副幹事長の高橋義次氏〔株〕Taka 創造建築舎代表取締役会長〕で、テーマは「立派な日本人たれ、倫理は実践全笑」。次に、一般社団法人倫理研究所理事の那須隆氏からの講話が行われました。

会場は北上市さくらホール中ホールで120名の参加がありました。(岩手県倫理法人会 広報副委員長 遠藤哲也)

倫理経営講演会とは、年に1回、全国各地の倫理法人会で開催される経営講演会です。講演会の中身は倫理研究所の研究員・法人スーパーバイザーの講演と、法人会員による事業体験の発表などで構成されています。



講話 那須 隆 理事



事業体験報告 高橋義次 氏

令和5年度倫理経営講演会開催一覧

単会名	開催日	開催時間	事業体験報告者	講師	開催会場
釜石市	5/10(水)	18:30～19:30	井口 富夫氏	増田 彰司氏	釜石市民ホール TETTO
一関市	5/15(月)	18:00～20:00	野口 敬志氏	東納 英一氏	ベリーノホテル一関
奥州市	5/16(火)	18:00～19:30	※朝礼実演	山下 幸平氏	プラザイン水沢
けせん	5/18(木)	18:00～20:00	小松 勝三氏	高橋 哲也氏	まるしちザ・プレイス
二戸市	5/18(木)	18:30～20:10	※朝礼実演	田形 健一氏	二戸パークホテル

女性委員会

第3回ランチセミナーのご案内



『初めて倫理にふれる』

『朝は忙しい・・・』

『どんなことをやってるの?』

未来の会員さんに、倫理法人会の活動の大きな柱であるモーニングセミナーを体験していただくために、参加しやすいお昼に時間を移して、モーニングセミナーの進行そのままにセミナーを開催いたします。

皆さんの“大切なあの方”に倫理法人会を知っていただくために、ぜひ、未会員さんをお誘いの上、奮ってご参加下さい。皆さんのご来場を女性委員会一同心よりお待ちしております。(岩手県倫理法人会女性委員長 佐々木富士子)

- ◆日 時：2023年6月30日(金) 11時～13時15分
- ◆会 場：ビックルーフ滝沢(滝沢市)
- ◆講 師：やましたひでこ公認 断捨離チーフトレーナー

古澤 貴子 氏

- ◆定 員：50名
- ◆参加費：2,000円(ランチ代含む)

未会員さん、
男性会員さんもぜひ
ご参加ください!



ぶらり 寄りみち 散歩道

日本百景狛鼻溪舟下り
(一関市東山町長坂字町 467)

棹一本で船頭がご案内。1時間30分の
ゆったり舟下り。

狛鼻溪は岩手県の母なる河、北上川支流の砂鉄川沿いに高さ50mを超える石灰岩の岸壁が、およそ2kmにわたって続く溪谷です。大正14年10月8日、国の史蹟名勝天然記念物に、名勝指定県内第一号に指定され、日本百景のひとつに数えられています。

かつて辺境の地にあってほとんど知られていなかったこの溪谷を世に紹介したのは、佐藤猯巖(げいがん)。猯鼻溪を有する一関市東山に生まれ育ち、父・洞潭とともに私財を投じて観光地開拓に努め、東の耶馬溪(やばけい/大分県)とうたわれるまでに発展させました。

以降、多くの方々のご協力とお客様に支えられ、猯鼻溪舟下りは年間18万人の乗船客をお迎えし、海外の客様にも年間5万人の乗船をいただいております。コロナ禍において観光客は減少しておりますが、今後の回復を期待し新たなコンテンツ、メニュー作りに取り組んでおります。

春の若葉が萌える新緑、5月下旬の藤の花。夏の濃い深緑。秋の紅葉。冬のこたつ舟から見る雪景色と四季折々の風景を楽しめるのが猯鼻溪の魅力。緩やかな流れのためエンジンを付けず手漕ぎの船頭さんの棹一つで往復しますので、魚や鴨も舟について来ます。生き物自然を近くで楽しめ、お子様にも大人気です。船頭さんのユニークな語りと溪谷に響き渡る「げいび追分」の熱唱は、老若男女にご好評をいただいております。



一関インターチェンジ、一ノ関駅から車で約20分。コロナ明けの小旅行に、まずは近場の岩手からお出かけしてみたいはいかがですか?

(一関市倫理法人会広報委員長 佐々木 朋和)



しきなみ短歌会

今回の短歌

歳重ね

背丈は縮むも洗濯を

干しやすくせんと竿を下げたり

(坂本静子さん)



『万人幸福の栞』

肉体は精神の象徴、病気は生活の赤信号 (疾病信号) 抜粋版

人は、骨と肉と血と皮と……からできているが、これだけで生きているだけではない。たましい（魂）すなわち心あって、一人の人間として、生命があるわけである。

しかし心（生命）は、どこにあるやら、昔の人はきもにあると思っていた。それで「きもだまが太い」とか「小さい」とかという。中国では、下腹にあると思っていたらしく、丹心とか丹田とかいう。（中略）

そして心には形がなく、肉体には形があるが、この二つが全く一つになっていて、ちょうど電球（肉体）と電流（心）のようになっている。電流が弱いと火がホタルようになり、強いとパツ

と明るくなる。（中略）

そうだとすれば、肉体に病気が起こった場合、これは肉体だけがわるくなった……と片付けてよいであろうか。（肺が悪い、胃が痛む、足が自由にならぬとかいう場合）これまでは、肉体だけの故障と考えられて、そうした療法が加えられたが、実は体がバイキンにおかされたり、悪くなったりする今一つその奥の原因がある。（中略）

病気は実は、困ったもの、人生の苦しみなどではなく、有難い自然の注意、天の与えた赤信号であるから喜んでうけて、間違いを直すべきである。（中略）



倫理との出会いと今

奥州市倫理法人会 専任幹事
及川 健

入会のきっかけは、仲間作りのためでした。同級生でもある菊地弘樹さんから、「そろそろ入れや」という誘いにまんまと乗ったという感じでした。正直、朝6時からのモーニングセミナーってまさかと思っていましたが、本当にやっているんだと思い驚きを感じました。ただ、元来怠け者の私は、1年間スリープ状態でした。

入会2年目、私の性格を熟知している弘樹さんから「研修委員長頼むって会長が言ってたよ」と言われ、やりたがりの私は、幹事をお引き受けしました。引き受けた以上は

と一念発起し、モーニングセミナーは休まないで参加と自分に課し、一年間無欠席で2年目を終えました。

入会3年目からは、専任幹事を拝命し、5年目を迎えました。また、第1期岩手倫理経営塾に入塾し、現在も運営のお手伝いをさせて頂いております。この塾を通して得た同期8名との絆は私の大きな宝物となりました。

「思い立つ日が最上の吉日である。」と万人幸福の栞に記されていますが、まさしく、私にとっては、理由はどうであれ、入会を決めたあの時が、最良の一日だったんだと思う今日この頃です。

世界がWBCで盛り上がった3月。岩手が生んだスター、大谷翔平と佐々木朗希も、その大舞台に立った。

普段野球はあまり見ない私でも、日本が世界と戦うとなれば応援しないわけにはいかないので、連日仕事の予定と新聞をにらめっこしながらテレビに食いついていた。

大谷翔平と佐々木朗希目当てのテレビ観戦だったが、試合が進むにつれ、他の選手にも当然注目する事になった。

必ず期待に応える吉田選手。次に繋げる近藤選手。日本人の心をしっかりと掴んだヌートバー選手。素晴らしいプレーの数々に拍手し過ぎて手が痛くなるほど。そんな中、なかなか日頃の成果が出せない村上選手は、多くの野球ファン同様私も心配しながら見ていた。打てない日が続く、SNSなどでは、『打てない選手を使うのはなぜ？』

『交代させるべき！』などと辛辣なメッセージが目立った。私も栗山監督が打てない村上選手を使い続ける理由が分からなかった。だが、準決勝でようやく覚醒した彼の姿を見たら涙が出た。ここまでよく耐えた！よく頑張った！そして、何よりも彼を信じ続けた栗山監督は本当に素晴らしいと感じた。

栗山監督はこれまでの村上選手の練習する姿や試合での成績を見て信頼を寄せ、何があっても彼を信じ続けた結果、あの感動のシーンが生まれた。まさに、【信ずれば成り、憂えれば崩れる】の実践の結果を目の前で見ることができたのだ。思いがけず、WBCの観戦で倫理を学ぶ事になり、一石二鳥！、なんて思った3月だった。

北上市倫理法人会 広報委員長 伊藤英理子